

パネルディスカッション「さらなる一歩に向けて」のまとめ

有明海・八代海の現状は、大変に厳しい。早急に総合的・包括的かつ自主的・具体的な取り組みを皆で**豊かな海**を目指し、推進していく必要がある。

○ (理想) なにを、だれと、どのように、いつ、どこで

- ・目標をマスタープランとして地域特性を活かし、国や県のレベル等のレベルの違いを意識してそれぞれの**実施計画**に落とし込んで**連携して実施**していくこと (e.x. 地域循環共生圏、干潟の連携)、
- ・その中で、**科学的な視点**をもって市民・子供たちへ伝え、シビックプライドを醸成する**事例を積み上げ**、**産業や地域振興**につなげること
- ・総合的に、**拠点を活用**し、研究の視点を持ち、定常的に、継続的に、地域の振興のための**国・自治体、企業からの支援** (事務局運営、助成金、新たな技術開発など) を実施していくこと、**参加する者からも参加費**などを得ながら実施していくこと、
- ・継続できる教育として、**子供も大人も楽しく、美味しく**、利害関係を超えた知識を核に、**長期的視野**でのガイド養成や親子への啓発に取り組んでいくこと、

○ (今できること) なにを、だれと、どのように、いつ、どこで

- ・年1回の討論会 (テーマを決めて一つずつ: **例えば、環境教育、水産業、観光**) 発表会 (**事例を共有: 例えば、荒尾干潟と水鳥・湿地センター**) の定常開催

2019年8月19日

熊本県沿岸域フォーラム：シンポジウム「熊本県沿岸域再生の現状と展望」

パネルディスカッション参加者一同